

(調査様式1)

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日

平成24年8月24日

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	第4690100708号
法人名	医療法人 秀愛会
事業所名	グループホーム清滝
所在地	鹿児島市西千石町13-30 (電話) 099-213-9950
自己評価作成日	平成24年6月8日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

鹿児島市の中心に位置し、交通の便にも恵まれています。木市やおはら祭りなども徒歩で見学に行ける距離であり、外出などしやすい環境です。行事など通所介護事業所との交流を行っています。病院が併設であり、定期的受診や、緊急時に対応ができ安心して生活できます。

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/">http://www.wam.go.jp/</a>
-------------	---

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	平成24年6月30日

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

当ホームは昨年の7月に開設され、鹿児島市の中心市街地に位置する10階建ての新しいビルの中にある。デイサービスやヘルパーステーション、高齢者専用賃貸住宅を兼ね備え、母体である病院も併設されている。散歩、外食、買物などにも便利で、鹿児島市のイベントにも外出しやすい環境の中に在る。館内施設との交流や定期健診、緊急時対応ができ利用者や家族の安心につながっている。職員も生き生きとケアに取組み、管理者は職員の研修にも意欲的であり、勉強会での意見を真摯に受止め、利用者の安心安全を重視する前向きな姿勢が窺える。今後は地域と関わりながら、利用者や家族の立場に立った、より質の高いサービスの提供を目指している事業所である。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念を掲示し、実践できるように努力しており、管理者・職員間の交流の時間も多く、理念共有の為の会話の機会はある。	理念は6階と7階の入り口の壁に掲示され、朝の申し送りや職員会議においても理念の共有と実践に繋がられているか常に確認している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近所の散歩や近くのスーパーへの買い物、小学校の運動会への参加やおはら祭り等に出かけたりしている。	母体の病院と共に町内会に加入し、近くの小学校の運動会や行事に参加したり、立地条件を活かしおはら祭りに出掛けたりして地域の一員として関われる環境を目指している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	運営推進会議などを通じ町内会長、民生委員などへもいつでも相談できるように対応を行っている。開所前に職員に認知症サポーター養成研修を受講している。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	町内会長、民生委員、地域包括支援センター、ご家族代表より現状報告、ご意見を頂いている	2ヵ月に1回の運営推進会議は地域包括支援センター、町内会長、民生委員、家族代表の参加を得て開催し事業所からの報告と意見や要望を聞いている。今後は家族会を開催し地域の協力体制をもらう為の話し合いを行い、運営推進会議を活かした取り組みを目指している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>運営推進会議への地域包括支援センター職員の参加をしていただき、地域ケア会議などへの参加を通じ相談をできる関係を作っている</p>	<p>市町村の担当者に、ケア会議に参加してもらい事業所の実情や、ケアサービスの報告を行い相談できる関係を築いている。また情報交換で更なるケアサービスに取組める勉強会なども検討している。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>職員がよく見守りを行い、対応することで日中は施錠していない。また事業所でも勉強会を実施している。</p>	<p>職員は勉強会で、禁止の対象となる具体的な行為を正しく理解しており、施錠しないことで、職員も緊張感を持って見守りに努め、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることのないよう注意を払い、防止に努めている</p>	<p>勉強会などを通じ再度自己の認識を行うように努め、利用者の心身状況を見逃さないように気を付けている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>昨年開所前に地域包括支援センターの地域ケア会議に職員が参加している。定期的に権利擁護に関する勉強会の開催を検討している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に契約書、重要事項の説明を行っている。また利用料金に変更などあった際は説明を行い、署名、捺印をもらっている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	要望等あれば、その都度伺い管理者に報告し対応、反映している。家族への報告などを今後の課題として検討している。	家族の面会時や病院受診の際、利用者や家族の意見や要望を伺い、その都度対応している。事業所から利用者の状況や薬の報告を行い、また園便りでもお知らせしている。管理者や職員は家族などの意見を運営に活かす努力がみられる。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月職員会議時に意見や提案を行いやすくし、反映している。必要時は個別に話をしている。	運営に関する職員の意見を職員会議で管理者に提案し個別にも対応するなど機会を設けている。職員のスキルアップの勉強会や研修会にも積極的であり、資格取得後の報酬も考慮するなど働く質の向上に繋げている。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	資格に応じて手当を支給しており、資格を取得すると給与もアップする体制をとっている。		

鹿児島県 グループホーム清滝 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人内で研修を行ったり、外部への研修に行く機会も設けている。また個人個人への指導もある。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>開所に伴い、他の施設にて研修を行った。他施設の管理者とも情報交換を行っている。包括圏域の事業所とも今後話し合いの場を設けようと計画中である。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用前に本人への面談やご家族に状況、状態を伺ったり、ご本人にもコミュニケーションを一人ずつとりながら努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	面会等で来られた際に話をしたりし、その中で出た要望について意見を交えている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	職員間で話をしながら見極めを行い、生活がスムーズにいくようにしている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	家事動作等を一緒にしたり、昔のことを聞きながら参考にさせてもらったりしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会をしやすい環境を作っていく。職員と家族の関わりが少し薄いので今後の課題である。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	近くのお店に知り合いがいる利用者を連れて、買い物に行ったりする機会を作っている。知人の面会が少ないので家族を通じて関係が継続できるようにしていく。	利用者の知人の所に一緒に出かけたり、お墓やお寺には家族の協力をもらいながら外出している。友人や知人が少ない時は同じ館内にある関連施設に出向き、話をしたりして馴染みの関係を築き支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士でトラブルがないように、出来るだけ色々な方向に目を向けて支え合えるよう努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院時の面会、相談時は対応をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の関わりの中で、本人の意向をくみ取りケア会議等で職員間の共有を図っている。	日常生活の中で、利用者がどこでどのように暮らしたいか、何をしたいのか会話の中で汲み取り、また会話の困難な方は家族からの情報を参考に、一人ひとりの暮らし方の思いや意向の把握に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	経過記録やご家族などから情報をもらい、現状把握ができるように努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の観察や記録、環境整備を行い、本人との会話で把握できるように努めスタッフと共有している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	朝礼や申し送りなどの際に意見を職員からも出して貰っている。主治医や看護師などから意見を聞き、家族の要望も踏まえ作成している。	介護計画は本人、家族、主治医、看護師、家族の意見、また朝の申し送りに出た意見も踏まえて話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し作られている。介護計画の見直しは家族に来てもらったり、電話で相談する場合もある。期間にとらわれず現状に即した介護計画である。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	朝夕の申し送りや、気づいた点を話し合い必要に応じて記録や個別の送りノートに記入し、情報を共有し、活かされている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	出来る限り本人の意見、意向を尊重し対応している。		
29		○地域資源との協働  一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	一人一人の能力を活かしながら支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	主治医選択は個人、家族の希望を大事にしている。又、日ごろの状況を主治医に伝えている。	かかりつけ医の受診支援を行っているが、家族からの申し出で隣接している母体医院が主治医となっている。他科受診の場合、紹介状を発行し、家族に連れて行ってもらう場合もある。ヒヤリハットも綴られ看護師の判断で受診も可能であり、夜間対応もできる。適切な医療を受けられるように支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	週一度、看護師が訪問し本人の状況確認、職員との相談ができるようにしている。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	入院期間との連絡調整を随時行っている。連絡を取り合い現状把握ができるようにしている。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	本人・家族の意思を大事に、安心・安全に納得した最期を迎えられるよう取り組んでいる。	入居時に家族と重度化した場合や終末期のあり方について話し合い、事業所でできることを説明している。一度方針が決まっても家族の気持ちは揺れ動くので状況変化に伴う段階的な話し合いで方針の共有と支援に取り組んでいる。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	定期的に勉強会の実施を行っている。必要時には併設病院の医師、看護師との連携体制ができている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>定期の訓練を行い、また緊急マニュアルを作成し、夜間の対策もしている。地域との連携が今後の課題である。</p>	<p>年2回の定期的訓練は消防団の協力のもと夜間想定で行っており、スプリンクラーも設置されている。事業所が6階7階に在るため、避難通路の確保や、職員だけの誘導の限界を具体的に確認し地域の協力体制も検討している。</p>	<p>事業所の近くに公園があり、避難場所は確保されているが、エレベーター以外の避難通路を地域消防団、地域住民、母体医院との連携し誘導できる工夫を期待したい。また非常用食料や備品など更なる災害対策が望まれる。</p>

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個人情報の保護方針を提示、個人記録ファイルも事務室に保管し漏洩防止に努めている。	事務所のロッカーに利用者の個人情報や個人情報は保管され、職員は勉強会で、目線を合わせての声掛けや一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない対応ができています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	個々に応じて選択の方法を変えて出来るだけ本人に自己決定していただけるようにしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	申し送り等の情報をもとに、体調・希望を考慮し個別に声掛けし支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	毎日着る服、パジャマ等、色や素材を触る等し、本人の好きなように選べるように支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	旬の食材を使い、季節行事を意識した調理・献立を作っている。又、調理に加わり、会話をする等、ふれあいを取るようになっている。	キッチンには利用者がいつでも見通せるガラス張りになり、食事は利用者と職員が同じテーブルを囲み、今日の献立の内容や旬の食材の会話を楽しみながらの食卓である。利用者は自分のペースで完食し職員は見守っている。食後の片付けも利用者の力の発揮となり、食事を楽しむことのできる支援になっている。	

鹿児島県 グループホーム清滝 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分摂取量が一目で確認できるようにし、全スタッフが把握できるようにしている。又、体重や血液検査結果により食事量の調整をしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	それぞれの方に合った声掛けや、介助を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	チェック表を作成し、一日のパターンを一目で確認できるようにしている。	排泄チェック表で一人ひとりの排泄パターンを把握し、日中はリハビリパンツでトイレに誘導している。また気持ちよく排泄できるように自家製ヨーグルトをおやつ時に食べて頂いたり、排泄の自立に向けた支援を行っている。オムツ使用の利用者が自立排泄に変わった例もある。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	チェック表を確認し把握し、予防に取り組んでいるが運動への働きかけがまだ必要だと感じている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	曜日は一応決めているが、その日の本人の状態等に合わせて希望を伺い、順番を決めて空調にて室内の温度を快適にするよう努めている。	利用者の希望やタイミングに合わせ、入浴をいやがる利用者には異性介助であったり、時間をずらす、気分を変えて入浴剤の使用など個々に応じ、また脱衣所は温度差をなくす空調設備も完備され入浴を楽しむ支援となっている。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	今までの生活スタイルを尊重しつつ状況や状態に応じて支援をしている。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	経過記録に用法等のシートを綴っており内容に変更があった場合必ず送りやノートにスタッフ全員が把握している。薬剤師に内服の相談が出来る体制がある。		
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	食事の支度、洗濯、掃除等利用者相互の様子確認をしながら個人の力を見出している。		
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	本人の希望を伺い、買い物や散歩、外出を行っている。又、家族の協力を頂き外食にも出かけている。	買物や散歩、外出を楽しめる立地条件のため車いすでも川沿いの花見や木市、公園など戸外に外出する機会も多く、家族の協力を得て外食や外泊も楽しんでいる。買物を楽しむための小口現金の出納帳も管理者が管理し家族に確認して頂き、日常的な外出支援が行われている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>個々の状態に応じてではあるが、所持されている方は希望に応じて使えるように支援している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>利用者によっては携帯電話を所持されている方もおり、訴えがあれば家族の理解がある場合いつでも連絡が出来るようにしている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節行事の作品や大きなカレンダーで室内に季節感をだし、ゆっくり過ごせるように整理整頓している。</p>	<p>玄関を入ると6階7階ともそれぞれの個性を活かした利用者の写真が訪問者を出迎え、家族の方がいつでも確認できるように運営推進会議などのファイルも置かれている、共用の空間は清潔で広く明るい。トイレも3ヵ所あり混乱を招かないように配慮され、居心地の良い共用空間である。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>居室にていつでも過ごせるようにしており思い思い利用者同士の交流もされている。また席も考慮し、見守りしつつさびしい思いをさせないように工夫している。</p>		

鹿児島県 グループホーム清滝 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>本人の私物を自由に持ち込み利用しやすいようにし、出来るだけ使い慣れたものを持ってきていただけるように伝えている。</p>	<p>居室は職員と利用者の力をもらいながら一緒に清掃し、使い慣れたものが整理整頓されている。希望者はテレビを持ち込み好きな野球観戦を楽しんだり、自宅との環境のギャップを感じさせない工夫に取り組んでいる。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>個々に合わせて出来ない所のお手伝いをして工夫しており、室内環境等本人の使いやすいよう観察と試行錯誤し、安全な環境づくりに努力している。</p>		

**V アウトカム項目**

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

鹿児島県 グループホーム清滝 1ユニット

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

鹿児島県 グループホーム清滝 1ユニット

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない